

# 旧赤松家だより

令和元年 10月2日



“〇〇の秋”。他の季節にはあまり聞かないフレーズです。それだけ秋にはお楽しみが詰まっているのでしょうか。

旧赤松家の庭園には“実りの秋”がやってきています。柿、かりん さくろ花梨、柘榴など。虫や鳥に先を越されて収穫は難しそうですが、風に揺れる果実を眺めているだけでも秋の風情を楽しめます。

記念館の軒先に置かれた鉢植えや靴箱の上に飾ってある作品…来館された方から「これ素敵ですね」としばしば声をかけていただきます。これらは、土日祝日に記念館で施設案内をするボランティアの方々が、来館者に楽しんでもらえたらと季節ごとに展示してくださっているものです。そろそろ菊の鉢が並ぶ頃かなと、実は職員も楽しみにしています。



昨年度、旧見付学校で開催された企画展「明治150年と学校教育」ここ旧赤松家内蔵ギャラリーでも展示することとなりました。明治・大正・昭和・平成と移り行く教育現場を貴重な写真とともに紹介しています。

“行楽の秋”です。お出かけの際には、ぜひお立ち寄りください。

## 内蔵ギャラリーのご案内

### 『明治150年と学校教育』

開催期間：10月2日（水）～ 10月14日（月）

\*休館日 10月7日（月）

開催時間：午前9時～午後4時30分

（最終日は午後3時まで）

入場料：無料

出展者：旧赤松家記念館

問い合わせ：旧赤松家記念館 0538-36-0340

